



令和7年 3月17日
八王子市立上柚木中学校だより
第11号（通算352号）
校長 三田村 裕

1年間、ありがとうございました

明後日3月19日（水）、3年生95人が本校を巣立ちます。

この3年間、一人一人が大人へと変容をしていくなかで、様々なことがありました。もちろんほめることも多々ありましたが、叱る場面も同じくらい、あるいはそれ以上（？）にありました。また、時に異なる個性と個性がぶつかり合うこともありました。しかし生徒たちは、こうした一つ一つの出来事があるたびに自己を振り返り、着実に成長をしてきました。個人としてはもちろん、集団としても成長しました。いい学年になりました。

そして2年生も1年生も、もちろん人により歩みは様々ですが、それぞれが着実に前に進んでいます。

このように強くて確かな手応えを感じて令和6年度を終えられることに安堵しています。保護者や地域の皆様に、静かに見守り、また温かくご支援いただいたおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和6年度の上柚木中を振り返って

教育課程の実施状況

教務主幹 田中 博之

今年度は、台風に伴う大雨の影響で授業を実施しなかった日がありましたが、各教科で授業進捗等の調整をして、教育課程を計画どおりに終わらせることができる目途が立ちました。

第1・2学年は第3学年より授業日数が多いことに加え、第3学年が午後の授業を実施しなかった進路面談期間中も授業を行っていたため、余剰時数が第3学年と比べて多くなりました。その調整として、第1・2学年は3月10日（月）から3月14日（金）まで、午後の授業を実施しない対応をとりました。

ユニバタイム（UT）は導入3年目となり、さらに拡充し発展させることができました。他県の実教育委員会や学校、そして昨年度同様、新聞記者が視察や取材目的で来校しました。今後も、UTのより効果的な活用方法を模索し、生徒理解や生徒の抱えている問題の早期発見・早期対応に向けて、教職員一同取り組んでまいります。

また、今年度は開校30周年という上柚木中学校にとって節目の年で、記念式典を合唱祭と合わせて10月に行い、その4日後には、開校30周年記念行事としてバルーンリリースも行いました。

さらに今年度は、東京都教育委員会から授業改善推進拠点校とT o k y oスポーツライフ推進指定地区指定校の指定を受け、授業改善による生徒の学力向上の研究と、生徒の運動習慣の定着や体力向上を目指す取組を行いました。授業改善推進拠点校の指定は来年度も継続されますが、今年度

は節目の年というだけでなく、未来を見据え時代に即した教育を探究することで自校の基礎を固めるとともに、東京都の中学校を牽引していく役割を果たす1年となりました。

令和7年度は八王子市教育委員会の方針により、週の授業時数を今年度より1時間少ない27時間とします。来年度の学校行事及び保健行事予定一覧表は、4月に配布しホームページに掲載します。この1年、本校の様々な教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

生徒の学校生活

生活指導主任 中村 悠太

早春の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度も残りわずかとなりました。この1年間、本校では、生徒たちが安心・安全な学校生活を送れることはもちろんのこと、生活習慣や規律ある行動が定着するよう指導してまいりました。特に「規律を守る」「時間を守る」「身だしなみを正す」ことを大切にしながら、日々の指導にあたってきました。その結果、朝礼時はもちろん学校生活を通じて服装の乱れが少なくなり、凛とした姿の生徒が増えました。時間については、かつては授業の開始時刻にまだ準備をしていたり着席していなかったりだったのが、次の授業の準備を整え椅子に座った状態でチャイムを聞くことができるようになりました。また、集団としてよくないことを認めない雰囲気が出てきました。「もう座ったほうがいいよ」「もっと準備を急ごう」と声を掛け合っている生徒の姿を何度も見かけました。当たり前のことを当たり前にできる生徒が増え、多くの生徒がこれらを継続的に意識したからでしょう、大きな問題もなく1年を終えることができます。これは、保護者の皆様のご家庭で指導や声掛けをしてくださったおかげでもあります。御礼申し上げます。

卒業を迎える3年生は、これから新しい世界へと羽ばたいていきます。これまで上柚木中学校で培った経験を新たな道で生かし、自信をもって進んでいってほしいと思います。1・2年生は、新年度から学校の中心となり、後輩のよい手本となることが求められます。引き続き、ご家庭でも生活習慣やマナーについてお声掛けいただけますと幸いです。

保護者の皆様には、日々のお子様の成長を温かく見守り、ご支援いただきましたことに、改めて御礼申し上げます。来年度も、生徒たちがより充実した学校生活を送れるよう、教職員一同努めてまいりますので、引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

学校保健

主幹教諭（養護） 渡邊 久美子

日頃から本校の保健活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

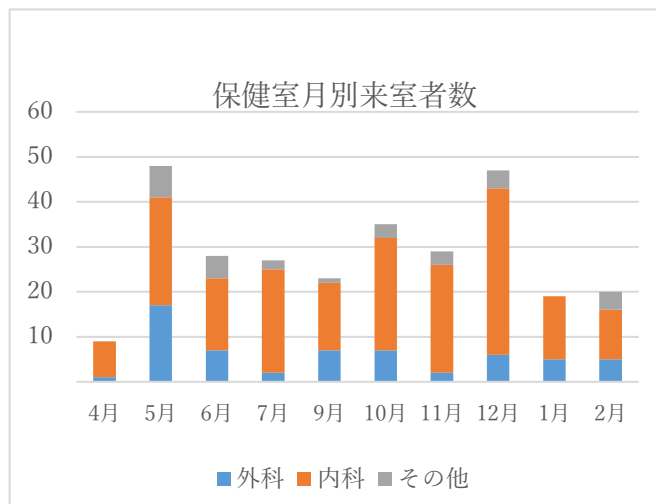
保健室には、様々な理由で生徒が来室します。けがや体調不良、身長体重などの測定、気分転換やクールダウン、時には教室からの逃避なども……。個別支援担当として、そして養護教諭として、生徒一人一人が充実した学校生活を送るために、保健室だからこそ見えるもの、できることは何かを考えた1年でした。

次頁のグラフは、今年度の月別保健室来室状況を、外科・内科・その他（相談活動等）に分けて示したものです。また、統計には現れていませんが、休憩時間にも多くの生徒が保健室を利用しました。

今年度は、T o k y oスポーツライフ推進地区指定校として取り組んだ効果か、年度当初は、昼休みは保健室で過ごしていた生徒も、校庭で遊んだり運動に親しんだりする姿を多く目にするようになるなど、学校全体で健康な身体作りに取り組めました。昨年度は、けが等でスポーツ振興センターに15件申請しましたが、今年度はその半数の8件で留まっているところにも成果が現れています。

新型コロナウイルスなどの感染症は、この先もなくなることはありません。自身が心身ともに健康でいること、正しい知識をもち、抵抗力を付け、感染時には適切な対応をとることが大切です。抵抗力を付けるには、バランスの良い食事と、良質な睡眠、適度な運動が大切です。T o k y oスポーツライフの取組によって浸透してきた運動習慣は、感染症対策にもつながりますので、今後も昼休みの外遊びが続くことを願っています。

保健室では、これからも生徒たちが安心して学校生活を送ることができるよう、心に寄り添い見守っていきます。お子さまのことで何か心配なことなどありましたら、ご遠慮なくお知らせください。1年間、ご協力ありがとうございました。



	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
外科	1	17	7	2	7	7	2	6	5	5
内科	8	24	16	23	15	25	24	37	14	11
その他		7	5	2	1	3	3	4		4

第1学年

第1学年主任 神保 真実

1クラスという少ない人数だからこそ、仲良く過ごそうという意識は入学当初からありましたが、初めのうちは出身小学校の違いなどで少し壁があるように感じていました。しかし、様々な行事や学校生活を通じて互いのことを知り、交流することでその壁はなくなり、クラスとしてのまとまりができてきました。

1年生のよさは、何事にも素直に、真剣に取り組む姿勢だと思います。体育祭ではクラスが2チームに分かれて対戦したり、合唱祭では同じ学年と競えず先輩たちに挑んだり、学校行事では1クラスで取り組むことの難しさがありました。それでも、実行委員を中心に試行錯誤して練習を重ねて本番に臨みました。そして先輩たちのすごさに感動し、来年はもっとこうしたい、こうすればよかったかもと振り返っている生徒が多くいました。

学年としては、1学期に八王子学習、3学期に校外学習を独自に行いました。班で計画を立て、生徒だけで行動する中で、班員で協力すること、時間やルール、マナーを守って行動することの大切さを学ぶことができました。



1年間を振り返ると、誰もが心も体も“中学生らしく”成長したと思います。学年目標の「自ら考えて行動する」ことができた場面が多くありました。来年度へ向けた課題は、自分だけでなく、周りへ目を向けることです。周りへ目を向け、集団の一員として何をすべきかを考えて行動できるようにしていきたいです。それぞれがもつ力を発揮し互いを高め合えば、集団としての力は個人の何倍もの力になります。集団としてもさらに成長し、上柚木中の中核として、学校を引っ張っていく学年になってほしいと願っています。

1年間、様々な場面でのご理解とご協力をいただきありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。

第2学年

第2学年主任 大橋 里

いつも東門をくぐるたびに、2年生の生徒たちと初めて出会ったときのことを思い出します。東門の見事な桜の前で記念写真をとった日、緊張した面持ちでカメラと向き合っていた一人一人の表情が忘れられません。

2年生は中だるみしやすい学年とも言われますが、そのようなことを感じさせない頑張りを発揮し、この1年間大きく成長できたと感じています。

最初の学年集会で「共に学び、質の高い集団を目指そう」という大きな目標を掲げ、そのために「自分と仲間を大切にする学級・学年をつくる」、「学習にしっかり取り組む」、「自分たちで決めたことを自分たちで実行する」ことを重点的に頑張っていこうという話をしました。

この学年目標を受けて、学年委員を中心に「率先垂範」という目標を自ら決め、1年生に「こんな先輩になりたい」と憧れてもらえるよう、3年生には「この学年に次の上柚木中学校を任せても大丈夫」と思ってもらえるよう態度・時間・礼儀をしっかりと守れる2年生を目指しました。

この1年間、授業を集中してしっかり受けられるようになり、授業での話し合いにも積極的に関



わろうとする姿勢が見られるようになりました。何よりも大きな成長だと感じたことは、班長や学年委員を中心にクラスの課題に真剣に向き合い、課題を解決するためにすべきことを自分たちで考え、実行していくことができたということです。自分たちで学年レクリエーションや球技大会を企画し、実行するまでになりました。自分さえよければよい、ではなく、「学年のみんなが」を主語に自らの行動を考えられるようになってきました。これから最高学年としてどのような表情を見せてくれるのか、どのような行動でこの上柚木中学校を引っ張っていつてくれるのか、楽しみでなりません。

この1年間、保護者の皆様に支えていただき、本当にありがとうございました。いつも温かなお声を掛けていただき、私たちもここまで頑張ってくることができました。心より感謝申し上げます。来年も引き続きよろしく願いいたします。

第3学年

第3学年主任 五十嵐 育子

卒業式まで残すところあと2日となりました。長かった中学校生活も終わりを迎えます。「623日」。これは、中学校3年間の授業日数です。こんなにも多くの時間をこの校舎で共に過ごしたのかと思うと感慨深いものがあります。入学当初はあどけない顔をしていた生徒も、月日とともに大人っぽくなりました。私たち中学校の教職員は、その成長を楽しみに、日々生徒たちと生活しています。

振り返れば、昨年4月「受験生」としての1年がスタートしました。今まで学習にスイッチが入らなかった生徒たちも、それぞれが目標をもって真剣に学習に取り組むようになり、1学期の成績が伸びた子が多くいました。

また、体育祭では「後輩たちにかっこいい姿を見せよう」と真剣勝負の戦いを繰り広げました。一つずつ結果に一喜一憂しながらも、お互いのクラスの頑張りに拍手を送る姿に、学年のまとまりを感じることができました。

2学期は修学旅行、合唱祭という大きな行事の準備をしながら、志望校も決定しなければならないという忙しい日々を過ごしました。中学校生活最後の行事である合唱祭は、どのクラスも3年生らしい自主的な取り組みを行い、クラスの雰囲気そのまま歌に表現された素敵な歌声を披露することができました。生徒たちのやり切った感あふれる表情は今でも覚えています。

そして、余韻を味わう暇もなく数か月にわたる受験シーズンがスタートしました。世間ではインフルエンザが流行った時期もありましたが、上柚木中では大きな影響もなく、また、受験風邪に見舞われることもなく、それぞれが自分にできることに精一杯取り組んできました。

学年の課題であった提出物や時間への意識は、最後まで言い続けなければならない結果でしたが、3年間で成長できた多くのことに自信をもって、これからも自分を磨いていってほしいと思います。3年間、多くの保護者の皆様にご協力いただき、卒業の日を迎えることができます。本当にありがとうございました。今後とも地域の大人として、上柚木中の生徒を見守っていただきたいと思います。



Tokyo スポーツライフ推進指定を受けての取組

保健体育科 中村 悠太

初めに、Tokyoスポーツライフ推進指定地区の取組に多大なるご協力をいただきました。生徒たち、保護者の皆様の協力がなければ、成功はあり得ませんでした。心より感謝申し上げます。「スポーツを楽しみながら自己の幸福度を高め、生涯にわたり自分自身の興味や好みに合った運動を生活の中に取り入れ、親しむことの習慣を身に付ける」「体育の授業以外で体を動かす生徒の割合を20%上げる」という三つの目標を掲げ取り組みました。

生徒の変容がどうであったかを、取組前の5月と取組後の2月に実施したアンケートで見ると、5月に「運動が好き」と回答をした生徒は79%でしたが、2月には91%まで向上しました。他の三つの質問項目「運動が大切だと思う」「これからも運動したい」「体育以外の一週間の運

動習慣」も90%以上の回答でした。また、体育の授業以外で体を動かしている時間がふだんの1週間で一人当たり平均30分前後だったものが40分以上になりました。

「全く運動をしていなかったが、この取組を通して、自分でやりたいことを探して少し運動をした」と記述した生徒がいましたし、取組前は閑散としていた昼休みの校庭も今では多くの生徒が出て体を動かしています。さらに授業で活用している学習カードには「家の周りを走った」「自宅でトレーニングやストレッチをした」「新しいスポーツを知って今後もやってみたい」との記述が増えました。

最も手ごたえを感じているのは、ゲスト・ティーチャーを招いて行ったアルティメットとタグラグビーの授業と、昼休みに行ったスポーツグッズの貸出です。アルティメットもタグラグビーもやったことのない生徒が大半でしたが、それぞれ日本代表に関わっていたゲスト・ティーチャーの上手な指導者のおかげで、生徒たちは楽しくニュースポーツを知ることができました。また、昼休みのスポーツグッズの貸出では、竹馬やフラフープ、大きめのバドミントンラケットや当たっても痛くないボールなどを用意しました。誰にでも親しみやすい道具を用意したことにより、たくさんの生徒が毎日代わる代わる新しい道具に触れ、体を動かしていました。

生徒たちは、アルティメットやタグラグビーの授業が終わった後も自らルールを決めてゲームをしたりディスクを投げ合ったりしていました。興味関心をもってくれたことを嬉しく思います。

最後に改めて、保護者の皆様と生徒たちのご協力に心より感謝申し上げます。この取組の成果を校内や校外で共有し、運動をすることが好きな生徒、ふだんの生活に運動を取り入れたり、生涯にわたり継続的に運動をする生徒を育てていきます。今後も引き続きご支援いただけますようお願い申し上げます。

上柚木中生の活躍

(敬称略)

八王子市教育委員会表彰	硬式野球	(年 組)
-------------	------	--------

4月末までの主な行事

学＝放課後学習教室

3月17日(月) 卒業式予行、避難訓練 18日(火) 卒業式前日準備 19日(水) 卒業式 24日(月) 特別清掃 25日(火) 修了式、離任式 26日(水) 春季休業始 4月 4日(金) 春季休業日終 7日(月) 始業式、着任式、教科書配布(2、3年) 8日(火) 入学式前日準備 9日(水) 入学式、保護者会(1年) 11日(金) 給食始、定期健診始、身体計測、教科書配布(1年)、眼科検診	4月14日(月) 安全指導、生徒会入会式、部活動説明会 15日(火) 専門委員会 17日(木) 全国学力学習状況調査(3年)、中央委員会 18日(金) 聴力検査(1、3年)、専門委員会 21日(月) 保護者会(あじさい含む)、修学旅行保護者会(3年) 22日(火) 中央委員会 23日(水) 心臓検診(1年) 25日(金) 尿検査一次 28日(金) 生徒会朝礼、避難訓練、尿検査一次予備日
---	--